

<大会日程>

◆3月8日(金)◆

●15:00~17:00 旧理事会 6階 A611 教室

◆3月9日(土)◆

●10:00~11:00 新旧理事会 6階 A611 教室

●10:30以降随時 受付 地下1階 AB01 教室

●11:00~12:30 新理事会 6階 A611 教室

●11:20~12:50 学生企画シンポジウム 2階 A203 教室

<パラアスリートの身体表象>

発表者: 太田慎也 (株式会社 WOWOW)

竹内秀一 (学習院大学大学院)

武藤伸司 (東京女子体育大学)

●13:00~15:00 一般発表 A

A - 会場 1: 4階 A401 教室: <社会的包摂> 座長: 鷲谷洋輔 (同志社大学)

9A1-1: 原 祐一 (岡山大学) 松田恵示 (東京学芸大学)

不登校と「卓球」の社会学 (1)

—教育支援センターにおける「ネット越し」の他者関係—

9A1-2: 川田幸生 (一橋大学大学院)

公民館という場を拠点にスポーツを実施する障害をもつ/もたない青年

たち—東京都国立市公民館「しょうがいしゃ青年教室」を事例に—

9A1-3: 糸数温子 (一橋大学大学院/日本学術振興会特別研究員 DC1)

貧困・社会孤立に抗するコミュニティを拡張するスポーツイベントの

取り組み—沖縄・ダイモンカップの実践を中心に—

9A1-4: 鈴木直文 (一橋大学)

スポーツを核とした社会的包摂プログラムのデザインと実践

—「遊び心」と「自分らしさ」の居場所づくり—

A - 会場 2: 4階 A402 教室: <体育会系の社会学> 座長: 杉本厚夫 (関西大学)

9A2-1: 浜田雄介 (京都産業大学)

共同研究: 体育会系の社会学—われらの内の体育会系なるもの

第1報告 体育会系の諸特徴の抽出と整理

9A2-2：野村洋平（龍谷大学）

共同研究：体育会系の社会学—われらの内の体育会系なるもの
第2報告 原組織と体育会系

9A2-3：小丸 超（九州共立大学）

共同研究：体育会系の社会学—われらの内の体育会系なるもの
第3報告 体育会系と軍隊の内務班—特に「思考停止」の機制に着目して

9A2-4：金瑛（関西大学）

共同研究：体育会系の社会学—われらの内の体育会系なるもの
第4報告 体育会系とクラブの論理

A - 会場 3：2階 A201 教室：＜メディアと身体＞ 座長：西山哲郎（関西大学）

9A3-1：小石川 聖（早稲田大学大学院）

テレビ中継のリプレイ映像と「テクノ・ナショナリズム」

9A3-2：岡田光弘（国際基督教大学） 原仲 碧（上智大学）

チーム・スポーツでのミーティングのビデオ・エスノグラフィー
—コーチングの社会学に向けて—

9A3-3：松田恵示（東京学芸大学）

「視ることば」と身体の「自己指示化」
—高度情報化社会における再帰性に焦点づけて—

9A3-4：竹内秀一（学習院大学大学院・博士後期課程） 渡 正（順天堂大学）

中山健二郎（立教大学大学院・博士後期課程）
パラリンピックの表象とオーディエンス・エスノグラフィー
—スポーツドキュメンタリーシリーズ『WHO I AM』を対象に—

A - 会場 4：2階 A202 教室：＜コミュニティ＞ 座長：水上博司（日本大学）

9A4-1：張 寿山（明治大学）

スポーツ政策における合意形成へのアプローチ
—イングランドにおけるコミュニティ所有型スポーツクラブ支援政策
の変遷を例に—

9A4-2：国兼 慶（北海道大学大学院教育学研究院）

陸上競技のトレーニングに見られる実践コミュニティの形成

9A4-3：嘉門良亮（東北大学大学院）

地域スポーツ集団と生活組織の現代的展開
—40年後の「洞ヶ崎」再々訪—

9A4-4：伊藤 葵（富山国際大学）

総合型地域スポーツクラブの成長過程における中間支援組織の役割

- 15 : 10～17 : 10 国際交流委員会企画シンポジウム 2階 A203 教室
＜平昌五輪とその社会的インパクト：メディアと地域社会の視点から＞
司会：石岡丈昇（北海道大学）
発表者：パク・ボヒョン（大邱カトリック大学）
キム・チャングム（ハンギョレ新聞）
指定討論者：黄順姫（筑波大学）、黒田勇（関西大学）
通訳：森津千尋（宮崎公立大学）、申恩真（北海道大学大学院）

- 17 : 20～18 : 20 学会総会 2階 A203 教室

- 18 : 30～20 : 30 懇親会 福岡大学 文系センター棟 16階 スカイラウンジ

◆3月10日(日)◆

●9:00~10:30 一般発表B (※10M4-1を含む)

B-会場1:4階A401教室:<ライフスタイルスポーツ> 座長:北村尚浩(鹿屋体育大学)

- 10B1-1:武井 陽太郎(一橋大学大学院・経営管理研究科)
岡本 純也(一橋大学大学院・経営管理研究科)
100 km ウォークにおける『物語』
—ウォーキングイベントの普及に関する探索的研究—
- 10B1-2:市井吉興(立命館大学)
日本におけるライフスタイルスポーツ研究の展望
—ニュースポーツの系譜におけるライフスタイルスポーツの位置とは—
- 10B1-3:亀井克之(関西大学 社会安全学部)
杉本厚夫(関西大学 人間健康学部)
市民マラソンによる自己変革と組織変革—大阪マラソン参加の事例—

B-会場2:4階A402教室:<ジェンダー> 座長:高峰 修(明治大学)

- 10B2-1:川野佐江子(大阪樟蔭女子大学)
大相撲力士の身体表象—「男らしさ」と「〈日本人〉らしさ」を巡って—
- 10B2-2:田中 嵐(東京学芸大学大学院)
ジェンダー・メッセージを発信するメディアとしての「遊び」の
機能に関する社会学的検討
- 10B2-3:溝口紀子(日本女子体育大学)
スポーツにおける月経に対する指導者と選手の相互不理解について

B-会場3:2階A201教室:<社会資本・文化資本> 座長:中澤篤史(早稲田大学)

- 10B3-1:笹生心太(東京女子体育大学)
沖縄におけるリーグボウリング
—ソーシャル・キャピタルの象徴としての側面から—
- 10B3-2:小谷寛二(広島文化学園大学人間健康学部スポーツ健康福祉学科)
私立大学の「スポーツ系学部・学科の急増」に関する一考察
- 10B3-3:三角さやか(関西大学大学院)
文化資本から見た日本のスイミングクラブの歴史的変容

B-会場4:2階A202教室:<健康政策> 座長:高尾将幸(東海大学)

- 10B4-1:青野桃子(一橋大学大学院)
自由時間における健康管理をうながす活動
—ウォーキングの政策的活用注目して—
- 10B4-2:多田 茂(順天堂大学)
地域スポーツクラブをベースに市民の健康増進と予防を目指す社会的シ
ステムの展開—ドイツの組織スポーツの医師会および法定疾病保険連合

との連携の試みー

M - 会場 4 : 2階 A202 教室 : <文化と政治> 座長 : 松島剛史 (立命館大学)
(※ 10 : 05~)

- 10M4-1 : 山崎貴史 (北海道大学)
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定と都市の
ジェントリフィケーション
ージェントリフィケーションを正統化する論理の変容に着目してー
- 10M4-2 : 岡本純也 (一橋大学大学院 経営管理研究科)
なぜ沖縄の民俗舞踊「エイサー」は世界に広まっていったのか
ー米国占領下の伝統文化の活性化ー

● 10 : 40~12 : 10 一般発表 C (※10M4-2を含む)

C - 会場 1 : 4階 A401 教室 : <レガシー> 座長 : 山崎貴史 (北海道大学)

- 10C1-1 : 金子史弥 (筑波大学)
オリンピック・パラリンピック大会が開催都市にもたらすスポーツ的
レガシー>に関する研究
ー2012年ロンドン大会の事例 : 地方自治体職員の視点に着目してー
- 10C1-2 : 高峰 修 (明治大学)
「復興」と「五輪」の関係の生成
ーNHK テレビ番組を事例としてー
- 10C1-3 : 清宮孝文 (日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程)
依田充代 (日本体育大学)
スポーツボランティアへの不参加動機
ー体育系大学生に着目してー

C - 会場 2 : 4階 A402 教室 : <学生野球> 座長 : 高橋豪仁 (奈良教育大)

- 10C2-1 : 中澤篤史 (早稲田大学) 鈴木楓太 (早稲田大学・非常勤)
戦前日本における中等学校競技大会の展開
ー朝日新聞社編『運動年鑑』(1919-1943)を資料としてー
- 10C2-2 : 竹村直樹 (龍谷大学)
高校野球にみるプロ・アマ問題ープロ・アマ断絶の構造と歴史ー
- 10C2-3 : 立木宏樹 (熊本学園大学)
学生野球初期にみられる応援の喧騒とその文化性に関する一考察
ー学生野球文化におけるイデオロギーとの関係からー

C - 会場 3 : 2階 A201 教室 : <スポーツの病理> 座長 : 市井吉興 (立命館大学)

- 10C3-1 : 村本宗太郎 (立教大学大学院)
学校運動部活動における体罰をめぐる裁判での部員と指導者の
主張にみられる体罰発生要因の検討

10C3-2 : 深田忠徳(鹿児島国際大学)

サッカー・揺籃期における観戦形態に関する一考察
—観戦者、プレーヤー、審判の関係性に着目して—

10C3-3 : 新井野洋一 (愛知大学地域政策学部健康・スポーツコース)

スポーツ社会病理学の可能性

C - 会場 4 : 2階 A202 教室 : <スポーツルール> 座長 : 柏原全孝 (甲南女子大学)

(※11 : 10~)

10C4-1 : 山崎未南子 (日本体育大学大学院体育科学研究科博士前期課程)

依田充代 (日本体育大学)

スポーツのルール改正から生じる不満に関する研究
—男子柔道選手に着目して—

10C4-2 : 柴田遼太 (東京学芸大学)

意図的ルール違反の潜在的機能に関する考察

—第2次ルールに対する違反に着目して—

● 12 : 10~13 : 00 ランチセミナー 4階 A403 教室

<オリンピック・レガシー・ストーリーを語る : エスノグラフィック的接近

Telling the Olympic Legacy Story – an ethnographic approach >

講演者 : フィル・コーエン (東ロンドン大学名誉教授)

● 13 : 00~14 : 20 実行委員会企画 (特別講演) 2階 A203 教室

<新たな栄光をめざす大分トリニータの「戦略」 : 三位一体で成し遂げてきた
地域密着のクラブ経営と今後の展望>

講師 : 榎 徹 氏 (株式会社大分フットボールクラブ代表取締役社長)

司会 : 谷口勇一 (大分大学)

● 14 : 30~16 : 30 研究委員会企画シンポジウム 2階 A202 教室

<日本版 NCAA と、これからの大学スポーツ>

司会 : 西山哲郎 (関西大学 人間健康学部)

コーディネーター : 松島剛史 (立命館大学 産業社会学部)

発表者 : 松元 剛 (筑波大学 体育系)

宮田由紀夫 (関西学院大学 国際学部)

杉本厚夫 (関西大学 人間健康学部)

● 16 : 30~17 : 00 クロージング 2階 A202 教室